事業報告書

2025年度事業報告　2026年度事業計画

2025 年度事業報告

2026 年度事業計画

（はじめに）

「共に生きる」時代へ

世界は今、これまでにない速さで変化しています。
国際情勢の不安定化や AI・テクノロジーの発展により、社会の仕組みや私たちの暮らしは大きく姿を変えつつあります。
しかし、どれほど時代が変わっても、社会の中心にあるのは「人と人とのつながり」です。 だからこそ、教育には次の問いが改めて求められています。
「人として、どのように生きるのか」
「よりよい社会をつくるために、何を学び、どう行動するのか」
人類は長い歴史の中で、この問いに向き合い、知恵を積み重ねてきました。 そして今、私たちが育てるべき力は、知識とともに、**違いを認め合い、支え合い、共に生きる姿勢です。**
これからの時代を生きる学生たちには、他者を尊重し、多様性の中で協働し、社会に貢献しようとする心が求められています。 教育は、その土台をつくる大切な営みです。

教育理念

「自立し、人と協力し、前向きに生きる人を育成します」

厳しさ増す環境

2025 年度の日本人対象コースの学生募集は厳しい状況となりました。
資料請求者数の減少に加え、オープンキャンパスや学校説明会への参加者が、十分に出願・入学へ結びつかない結果となりました。
一方で、国際・IT ビジネスコースは、募集 60 名に対して約 400 名の受験者が集まり、過去最高となる応募状況となりました。
進路実績においては、日本人コースで就職率 92%、国際・IT ビジネスコースで就職率 87%と、高い水準を維持しています。
また、財務面では当年度の収支差額が黒字となり、現金預金は約 1 億 5 千万円となりました。学校経営における財務の健全性は、着実に高まってきています。

少子化による 18 歳人口の減少は今後さらに進んでいきます。
財務省は、2040 年までに私立大学約 250 校から 400 校の削減を想定した方針を示しております。この変化は、専門学校においても避けて通ることはできません。

これからの学校運営には、規模、募集戦略 進路支援、カリキュラム、ビジネス資格、組織体制の強化 財務基盤の安定など、学校全体を見据えた改革が求められます。

3年後の学校に向けて（2029年）

本校は「専門性ある職業教育」と「人間教育」を両立する学校として、学生一人ひとりの成長を支える学校を目指します。

募集対象とするのは、「明確な目的を持っている生徒」、または「自分のやりたいことを見つけたい」と考えている生徒です。単に進学先として学校を選ぶのではなく、「これからの人生を前向きに築きたい」という意思を持ち、学びながら将来を見つけていこうとする学生を大切にします。

本校は、そのような前向きな姿勢を持ち、主体的に成長しようとする意欲ある学生の募集を強化していきます。

学生を安定的に確保し、それぞれのコースで社会に必要とされる人材育成を行います。

教育面では、「資格取得」を通して、社会の中で人と協力し、前向きに生きていく力を育てます。そのために、専門知識・スキルの習得に加え、コミュニケーション力、協調性、主体性、継続力などの“人間力”を育成する教育を実践します。

具体的には、
・一方通行ではない対話型授業
・卒業生などによるチューター授業制度
・学校行事の企画・運営参加、社会・地域貢献
・定期的な学生面談による個別支援
・保護者との定期面談による家庭との連携
・「優しい資格」から、より難度の高い資格を目標にして挑戦していきます。
また、学習成果として、
・日商簿記2級
・ITパスポート
・公務員試験合格
など、社会で評価される資格・進路実現を目指します。
「この学校で、人として成長できた」　「この学校なら、生徒に自信を持って紹介できる」と、学生や高校から評価・信頼される学校づくりを進めていきます。

「専門性ある職業教育」と「人間教育」の専門学校に向けての具体的な取り組み
3 年後の学校に向けて（2029 年）

「専門性ある職業教育」に向けての具体的取組み

【学生の現状】

・自信がない
・勉強体力がない（長続きしない）
・勉強する習慣がない（自主学習する習慣がない）
・近年、資格合格率の低下やそもそも受験しない

【これからの取組み】

1.優しい資格から難易度の高い資格へ（小さな成功体験を積み重ねてから難関資格へ）

【現状】日商簿記 3 級→日商簿記 2 級
↓
【これから】全経簿記 3 級→日商簿記 3 級→全経簿記 2 級→日商簿記 2 級
（現状：日商簿記 2 級を受けるのは 1 年～1 年半後）

2.自主学習の時間の確保（「総合学習」や「演習」の授業を追加）
難易度の高い資格ほど自分で勉強しないと受からない→自ら課題を見つけて取り組む
※他の専門学校では…「金曜日は自主学習の日」、「毎日、最後のコマは自習の時間」

3.早期に資格にチャレンジし、自信をつけるカリキュラム
【現状】7 月が最初の検定　→　【これから】5～6 月へ　　現状：6 月頃から出席率↓
（目標がないから来なくなる）

4.資格取得を通して確かな知識を（漏れのない知識を）

【AI に関するセミナー】
企業の業務において
・経理の請求書の発行や督促管理、仕訳入力は自動化 ⇒ ＡＩ
・エクセルデータの可視化（グラフ化）や分析 ⇒ ＡＩ ※関数を知らなくても大丈夫
・プログラミング ⇒ ＡＩ

今後求められる力は
・**AI に任せた仕事を評価・検証**する（あっているかどうかを確かめる）
⇒資格取得で得た知識は、この“間違いを見抜く力”の土台になる
・**会社が抱えている問題や課題を定義する力**→そのためには会社の業務や仕組み（全体像）はもちろんのこと、法律や経済動向等を理解している必要がある
⇒資格で得られる体系的な知識は、ここにつながる　例：IT パスポート
・**最終的な意思決定、会社内の合意形成を得る力**
⇒「資格で基礎を固め、そこに経験が加われば最良の意思決定ができる」（経験だけではだめ）

多くの「資格」を取ることで、ビジネススキルの土台を身につけさせる ⇒ 職業教育

5.対話型授業（参加型授業）

上述の通り、今後は、「Excel で関数が使える」といった「自分ができる」ということだけではなく、「間違いを見抜く・修正できる・判断できる」「説明できる」「全体を把握し、俯瞰する」「意思決定ができる」といったよりレベルの高いスキルが求められる

これまでの一方通行の授業ではそこまで高められない（これまでの授業でも「使える・できるようにはなる」が、ミスを発見したり、説明できるレベルには達していない）

↓より深い学びのために

対話型授業の導入

- 先生が質問を投げかけることで「気づき」を与える
- 質問と回答の繰り返しをすることで、理解を深める
- 先生が学生の進捗状況を聞きながら、個別具体的にサポートする（本校の強み）

「資格取得の勉強でビジネススキルの土台を固める一方で、実際の実務に対応できる力の育成のため、会話型授業（参加型授業）が必要」

ソクラテスの言葉を引用
「人は、対話、つまり**質問を通じて自ら考えることで真理に迫ることができる**（問答法）」
⇒先生は答えを教えるのではなく、対話、つまり質問を投げかけて**気づき**を与える
⇒学校に来て勉強する意味はここにあるのではないか

「人間教育」に向けての具体的取組み

1. 新入生オリエンテーションの充実（はじめの動機づけが大事!!）
「背中を見て学べ」では響かない。「言葉でしっかり伝えないと伝わらない」。

2. 資格取得機会を増やす
資格を取得するメリット
・資格取得は、やるべきことが明確であるため、学生自身が**目標設定**をしやすい
・資格を取得する過程では、単に知識やスキルを学ぶだけでなく、**自己管理や計画性、粘り強さが培われる**
・分からないことを先生に質問したり、友達と一緒に勉強することで、コミュニケーション能力や協調性（一緒に協力して努力する力）が培われる
・受かれば**自信**につながる（社会に出て、自信をもって取り組める）

資格取得は単に知識を身につけるだけでなく、**人間力**を高めることにもつながる

3. 学校行事（校外学習）の単位化
これまで…任意（来ない）→ 来れば得るものがある

4. 「企画・運営」の授業を追加
（内容）オープンキャンパスの企画・運営、スタッフの育成
（学生への効果）
・オープンキャンパスを企画し、実際にスタッフとして参加することで、
成功体験や失敗体験ができる
・参加者に説明することで、対話力や説明する力が身につく
・学校のことを知ることで、学校が好きになる（帰属意識の醸成）

5. 「コーチング」の授業を追加
（内容）２年生が１年生に学校生活や勉強についてアドバイスをする授業
（学生への効果）
① 後輩へのアドバイスを通じて、やる気や責任感につながる
② 下級生（1 年生）が安心して学べる
③ 学校全体に良い文化が生まれる

6. 「地域貢献・社会貢献」の授業を追加（任意） → ボランティア

7. 先生の役割
ティーチングからコーチングへ（教えるのではなく、アドバイスする・導いてあげる）

8. 定期的な個別面談で個別支援を行う（ダメなところは、個別に指導する）

まとめ

当校の学生は、他人に気を遣う（「こんなこと言ったらまずいかな？）子が多いため、人と関わることに遠慮しがちな傾向がある
そのため、まずは人と関わる授業（仕組み）を加えていきたい（関わらないと始まらない）

（1）2025 年度の専門課程

1．学生数の移動

① 1 年生

コース	5 月 1 日現在	コース確定	退学・休学	進級・卒業
簿記・会計　1 年	8	8	1※	7
ICT ビジネス　1 年	4	4	0	4
キャリアデザイン　1 年	2	2	1	1
合　　計	14名	14 名	2 名	12 名

※休学 1 名　　【休学理由】体調不良 1 名　　【退学理由】進路変更 1 名

コース	5 月 1 日現在	退学	進級
国際・IT ビジネス　1 年 A 組	30	1	29
国際・IT ビジネス　1 年 B 組	29	0	29
合　　計	59名	1 名	58 名

【退学理由】出席不足 1 名

② 2 年生

コース	5 月 1 日現在	退学・休学	卒業
簿記・会計　2 年	9	2※	7
ICT ビジネス　2 年	9	1※	8
合　　計	18名	3 名	15 名

※簿記・会計…退学 1 名、休学 1 名　/　ICT ビジネス…休学 1 名

【退学理由】進路変更 1 名　　【休学理由】体調不良 2 名

コース	5 月 1 日現在	退学	卒業
国際・IT ビジネス　2 年 A 組	25	1※	24
国際・IT ビジネス　2 年 B 組	23	0	23
合　　計	48名	1 名	47 名

※除籍 1 名　　【除籍理由】所在不明 1 名

２．2025 年度検定試験結果（2025／4／1～2026／3／18）

主催	検定	級	合格者	級	合格者	級	合格者
日本商工会議所	簿記検定	2 級	1 名	3 級	10 名		
	電子会計	3 級	5 名				
全国経理教育協会	簿記能力検定	2 級(商	6 名	2 級(工	7 名	3 級	24 名
	電卓能力検定	1 級	5 名	2 級	20 名	3 級	34 名
	所得税法	3 級	3 名				
	消費税法	3 級	1 名				
	法人税法	3 級	3 名				
	社会人常識マナー	JB	40 名				
実務技能検定協会	秘書技能検定	2 級	1 名				
MOS	Word		13 名				
	Excel		10 名				
	PowerPoint		15 名				
	Excel Expert		5 名				
情報処理技能検定	表計算	1 級	1 名	準 1 級	7 名	2 級	27 名
		準 2 級	26 名	3 級	45 名		
	文書デザイン	2 級	31 名	3 級	46 名		
	ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ作成	1 級	1 名	2 級	15 名	3 級	12 名
サーティファイ	Photoshop	スタンダード	1 名				
	Illustrator	スタンダード	7 名				
情報処理推進機構(IPA)	IT パスポート		3 名				
職業教育・キャリア教育財団	ジョブパス	3 級	13 名				
	情報活用試験(J 検)	2 級	4 名	3 級	13 名		
サーティファイ	営業力強化検定		5 名				
日本語国際教育協会	日本語能力試験	N1	3 名	N2	25 名	N3	7 名

2026 年度の専門課程学生状況 2026 年 5 月 1 日現在

１．クラス編成

コース	学年	学生数	担任・副担任
簿記・会計	2 年	8 名	略
ICT ビジネスコース	2 年	4 名	
簿記・会計(1 年課程含む)	1 年	4 名	略
ICT ビジネスコース	1 年	3 名	
公務員コース	1 年	1 名	
国際・IT ビジネス A クラス	2 年	29 名	略
国際・IT ビジネス B クラス	2 年	29 名	略
国際・IT ビジネス A クラス	1 年	30 名	略
国際・IT ビジネス B クラス	1 年	29 名	略
合　計	－	137 名	－

２．2026 年度専門課程国籍別学生一覧

国籍	国際・IT ビジネス			簿記・ICT・公務員			合計
	1 年	2 年	小計	1 年	2 年	小計	
日本				7	12	19	19
中国	8	7	15				15
韓国	1	0	1	1	0	1	2
ミャンマー	24	8	32				32
ベトナム	15	19	34				34
ネパール	6	9	15				15
スリランカ	3	3	6				6
バングラデシュ	0	7	7				7
ウズベキスタン	0	2	2				2
インドネシア	0	1	1				1
台湾	0	1	1				1
ドイツ	0	1	1				1
モンゴル	2	0	2				2
合計	59	58	117	8	12	20	137

３．2025・2026 年度国際・IT ビジネスコース新入生日本語能力試験取得状況

2025 年度…N2 取得者 10 名　N3 取得者 29 名　N4 取得者 3 名　未取得 18 名
2026 年度…N2 取得者 12 名　N3 取得者 40 名　N4 取得者 2 名　未取得 5 名

（２） 2025 年度卒の専門課程進路状況

進路部：山口

３．進路結果　2026／5／28 現在

コース	卒業者数	就職希望者数	就職者数	進学者数	就職活動継続	その他
国際ＩＴビジネス	47	39	34	5 うち 3年次編入 1	2 特定活動(就職活動継続) 2	1（帰国後就職） 2（帰国後就職活動） 2（家族滞在） 1（日本人の配偶者）
簿記会計	7	7	6	0	0	1（就労支援移行）
ICTビジネス	8	8	8	0	0	0
キャリア	1	1	1	0	0	0
計	63	53	49	5	2	7
うち留学生	49	41	36	5	2	6

※就職率　日本人学生 92.3%　　留学生 90%　　全体（国外も含む）92.4%

※求人票預かり件数 256 社　（前年比 98%）　　当校紹介求人の内定者　11 名

総括

これまで「検定試験に合格して自信をつけてから就活を行う」学生がほとんどでしたが、今年度は「機会を逃さず動く」学生も増え、校内説明会の参加も留学生を中心に早期化となりました。意識の高い学生は一年次の秋ごろから準備を進め、資格試験の受験や税理士事務所でのインターンシップ、校内企業説明会への参加を促しました。一社受けて不合格だった際に半年以上何もしない学生には資格試験に挑戦させるなど、必要以上に現実逃避をさせない指導を行いました。

昨年度の卒業生が採用された企業から今年度も新卒採用を継続したいとの申し出が 9 社あり、うち 4 社に 2 期連続で採用されました。在学中に資格試験に何度も不合格になった学生や、コミュニケーションに難があった学生も、採用された企業で当校の学びを十分に発揮し高く評価されていることがわかり、本人の潜在能力を信じ、学生の個性や個々のペースに合わせて伴走することの大切さを学びました。

人事の方と来校した卒業生
23 卒（国）　24 卒（簿）　25 卒（簿）　25 卒（国）

来日留学生数が前年度と比べて 20%増となり、外国人を採用する企業もより高い日本語力を求めるようになりました。毎年 6 月に実施される外国人雇用サービスセンター（留学生のハローワーク）主催の第一回合同就職面接会には今回約 2800 名の留学生が参加し、当校からは 21 名が参加、うち 2 名が内定を果たしました。

同年 12 月の第二回合同就職面接会では、日本語能力検定のスコアで面接できる企業が振り分けられるようになり、これにより当校の入学時に最も多い N3 レベルの学生への求人が極端に少なくなりました。

今後、技術・人文知識・国際業務のビザでの就労を実現するには、日本の就職活動の慣習だけでなく、2 年に進級する前に N2 レベル（またはビジネス日本語能力検定 400 点）に合格できる指導が必要と痛感しました。

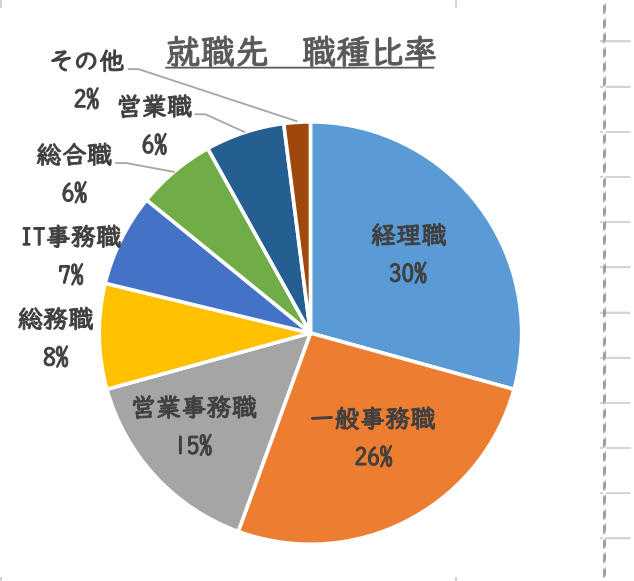
しかし一方で JLPT スコアは読解力と聴解力を推し量るテストであり、大半の企業が求める日本語の会話力においては N1 レベルであっても流暢さに欠ける学生が散見されます。外国人留学生の採用を検討する人事の方には、多くの学生と直接会話をする機会を増やしていただけるよ

う来校型での情報交換をお願いし、JLPT レベルにとらわれすぎない求人票の作成をお願いして面接の機会を増やして参ります。

日本人コース就職先（2020 年～2025 年卒）

㈱ナラティブ	商社
㈱セキネ	商社
三洋紙業㈱	商社
橋本総業㈱	商社
東京吉岡㈱	商社
㈱グラシアス	商社
角田無線電機㈱※	商社
市村酵素㈱	商社
みはし㈱	商社
共和電子㈱	商社
医療法人IMSグループ	医療
興和ティムス㈱	医療
㈱クスリのアオキ	医療
徳永薬局㈱	医療
㈱Supereg	飲食
㈲ケニーズハウス	飲食
㈱ウェイブズ	飲食
㈱絶好調	飲食
㈲晴海屋	レジャー
㈱レパスト※	食品
浅海電気㈱※	建設
㈱TDK	建設
UDS㈱	建設
ビルディンググループ	建設
都心綜合会計事務所※	専門サービス
SATO社会保険労務法人	専門サービス
税理士法人坂田哲章事務所	専門サービス
ジャパンギャランティーサービス㈱	専門サービス
㈱ダバンタージュ	小売
㈱トレジャーファクトリー	小売
リーバイストラウスジャパン㈱	小売
ネッツトヨタ秋田㈱	小売
㈱創翔アソシエイツ	IT
㈱ベアフォスターホールディングス	IT
㈱インテリジェントクラウドコンサルティ	IT
㈱プライムハート	IT
日本情報産業㈱	IT
㈱Y’ｓ	IT

コスモエ機㈱※	製造
㈱関東製作所	製造
㈱AOC	製造
長野証券㈱	金融
中ノ郷信用組合※	金融
東京東信用金庫※	金融
㈱北心電工	電気
サンプラス㈱	電気
㈱アウトソーシングテクノロジー	人材派遣
デルタホールディングス㈱※	人材派遣
ALSOK-TW東日本㈱	警備
東洋ワークセキュリティ㈱※	警備
㈱総合体育研究所※	教育
一般財団法人関東陸運振興センター	法人
㈱イズミック	卸売
㈱合英	卸売
㈱TBSサンワーク※	報道
アクティブマーケティングシステム㈱	請負
㈱イーエムコミュニケーション	通信
㈱JTE	通信
ワールド自興㈱	運輸
東和航空輸送㈱	運送
㈱首都圏環境美化センター	諸団体
千葉商工会議所	諸団体
㈱GoHands	出版



※印は、2 期または 2 名以上採用企業

（3）2025 年度の広報まとめと 2026 年度

【資料請求者】

2025 年度　2025/4/1～2026/3/31　　総数：2,472 人
高 1　218 人、高 2　930 人、高 3　465 人、留学生　281 人、その他 578 人

媒体業者：リクルート、イトクロ、さんぽう、ライセンスアカデミー、日東システム

【高校訪問】

2025 年訪問実績　2025/4～2026/3　675 校
正岡：東京都、埼玉県、神奈川県　316 校
通山：東京都、千葉県、埼玉県　359 校

公立、私立の全日制、定時制および通信制高校を中心に訪問。
在校生や卒業生の近況報告、オープンキャンパスや資料請求者があった場合に訪問

【校内ガイダンス】

・2025 年度　高校内ガイダンス　78 校参加・日本語学校校内ガイダンス　33 校参加
・2025 年度　会場ガイダンス（留学生）1 か所

【オープンキャンパス・学校説明会参加人数】2025/4/～2026/3

	オープンキャンパス	説明会・個別相談	合計
高校 1 年生	5 人	0 人	5 人
高校 2 年生	15 人	2 人	17 人
高校 3 年生	13 人	17 人	30 人
その他	1 人	4 人	5 人
合計	34 人	23 人	57 人

本校の歩留まり率＝（入学者÷オープンキャンパス参加者で出願可能者）23%でした。8/35

【オープンキャンパス参加者、説明会・個別相談会・留学生】

8/2（土）	101 名	4 月～3 月	217 名
8/30（土）	76 名		
9/27（土）	59 名		
10/25（土）	68 名		
1/24（土）	37 名		
合計	341 名		

【2026 年度　ビジネス学科 2 年課程/1 年課程入学者数】

2 年制	簿記・会計コース	2 人
	ICT ビジネスコース	3 人
	公務員コース	1 人
1 年制	キャリア・デザインコース	2 人
2 年制	国際・IT ビジネスコース（留学生）	59 人
	合計	67 人

【国際・IT ビジネスコース】入試結果

Ⅰ期～Ⅳ期	合格	辞退	入学	倍率
394 人受験	65 人	6 人	59 人	6.68 倍

＜2026 年度広報計画＞

・オフィス実務・AI 活用コース、公務員コース、国際・IT ビジネスコース、簿記会計 1 年コースの募集をします。
・公務員コースを成功させるために「株式会社ライトリード」と提携して広報します。
・ＡＯグローアップ入試、ＡＯ入試、指定校推薦入試、「自己表現入試」をおこないます。
・ＡＯグローアップ入試を 8/24～8/26 日に実施します。
・国際・IT ビジネスコースは、AO 入試、一般入試、指定校推薦入試を行います。
・特待生試験を行います。
・資格取得による学費減免制度を実施します。
・高校訪問、日本語学校訪問を実施します。
・オープンキャンパス 27 回､オンライン説明会 20 回と学校説明会 23 回などを行います。
・日本語学校対象の説明会を 6 月 15 日、6 月 22 日（オンライン）に開催します。
・留学生対象のオープンキャンパスを 9 回行います。
・留学生向け入学試験を 5 回行います。
・進学案内サイト等に広報します。
・高校生向け、留学生向け進路ガイダンスに参加します。

（４）2025 年度の学事報告と 2026 年度計画

＜2025 年度の学事報告＞

・4月1日・2日　　新入生オリエンテーション
・4月3日　　入学式
・4月17日　　健康診断
・5月16日　　校外学習：浅草探索
・6月18日　　ボーリング大会を池袋のラウンドワンにて行いました
・7月28日～8月1日　前期定期試験
・10月17日　　校外学習：ディズニーシー
・12月24日　　イヤーエンドパーティー
・2 月 4 日～10 日　後期定期試験
・2 月 19 日　　１年生就職出陣式
・2 月 25 日　　成績発表
・3 月 18 日　　卒業式

・玄関ホールに、検定合格者や校外学習の掲示を行いました。
・卒業アルバムを作成しました。
・「学生便覧 2025 年度版」の内容を更新しました。
・「教務規定 2025 年度版」の内容を更新しました。
・企業説明会を行いました。
・留学生の学習奨励金を5名が1年間給付を受けました。
・資格取得お祝い金（5万円）制度で、目標資格全部を取得した学生8名を表彰しました。

＜2026 年度計画＞

・「第 3 号議案　2026 年度事業計画」の内容をカリキュラムに加えていきます。

（５）2025 年度の職業訓練と 2026 年度計画

委託職業訓練は、昨年比 120.5%となりました。
毎年実施してきた私学財団主催のパソコン講座を実施しました。
（過去 3 年の実績）
2023 年度収入 38,569,914 円
2024 年度収入 23,038,888 円
2025 年度収入 27,762,791 円

2025年度教室利用予定

教室	2025年度 4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
7階	【専門】選択1・2年											
602	【専門】国際IT情報コース1年											
601	【専門】国際IT情報コース1年											
502 (PC)	【専門】国際IT情報コース1年・2年											
501	【専門】国際IT情報コース2年											
402 (PC)		【5】パソコン実践科			【8】パソコン実践科			【11】パソコン実践科			【2】パソコン実	
401				【7】総務経理			【10】総務経理			【1】総務経理		
4F会議室												
302 (PC)	AM 【専門】簿記・会計コース1年・2年											
301	【専門】ビジネス学科1年											
202	【専門】ICT1・2年											
201	【専門】ビジネス学科2年											

2026年度教室利用予定

教室	2026年度 4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
7階												
602	【専門】国際ITコース1年											
601	【専門】国際ITコース1年											
502 (PC)	【専門】国際ITコース1年・2年											
501	【専門】国際ITコース2年											
402 (PC)	【2】パソコン			【7】パソコン実践科 30名			【10】パソコン実践科 30名			【1】パソコン実践科 30名		
401				【7】総務経理 30名				【11】総務経理 30名			【1】総務経理	
4F会議室												
302 (PC)	AM 【専門】簿記・会計コース1年・2年											
301	【専門】ビジネス学科1年											
202	【専門】ICT1・2年											
201	【専門】ビジネス学科2年											

・2026 年度は、総務経理実務科（3 ヶ月）3 コース、パソコン実践科（3 ヶ月）4 コースなどを受託予定です。
・私学財団主催のパソコン講習を実施の予定です。

（６）2025 年度の運営報告

＊8 月 22 日、9 月 25 日　職員研修を実施しました。
・「公務員のライト（キャリアード合同会社)」職員による教育勉強会、営業勉強会を実施しました。
・2026 年度の年間スケジュール、カリキュラムを検討。
・2026・2027 年度に向けて、コース名の変更、新コースの開設とカリキュラムの検討を行いました。
・2026 年度募集要項の変更検討。（学費改定、資格取得入試、特待生試験など）

＊11 月 27 日　学校関係者評価委員会・教育課程編成委員会を開催しました。
・産学連携として、東京東信用金庫の人事部開発担当部長様を迎え、「必要となる事務職について」についてお話をいただきました。

＊3 月 24 日　講師会を開催し、入学者の状況や 2026 年度の運営などを丁寧に説明しました。また会議終了後に交流会を行い、講師からの率直な意見をいただきました。

＊雑収入（貸教室）
（過去 5 年の実績）
2021 年度収入 2,305,000 円
2022 年度収入 1,081,500 円
2023 年度収入 1,325,250 円
2024 年度収入 1,076,000 円
2025 年度収入　794,000 円

＊設備と改修
・玄関自動ドアの改修を行いました。

＊2024 年 10 月に出していた「学則の目的変更」申請が 1 月 29 日付で受理され、公務員コースは 2026 年度より設置可能になりました。

（目的） 第 1 条　本校はビジネスマンとしての教育とタイピスト、オペレーター、秘書としての学術技能を教授すると共に社会人としての教養を養わしむることをもって目的とする。

（目的） 第 1 条　本校は、教育基本法及び学校教育法に従い、簿記、パソコン等の技能を有するビジネスパーソン及び公務員として、社会の発展に寄与する人材を育成することを目的とする。

申請にあたっての取り組み
・学校医として、千代田診療所と契約。
・図書の整備として、1,727 冊（総学生定員 200 名×5 冊＝1,000 冊）を整備。
・登記書類、建築契約書、教員名簿、時間割等の提出、質問と回答、東京都の視察（千代田区の担当者と 197 通のメールやり取り）
公務員コース認可申請にあたり様々な方のご協力を頂きました。御礼申し上げます。

2026 年度の運営計画

＊引き続きホームページで学校情報（財務情報、基本情報、各種会議報告等）を公開します。
＊株式会社ライトリード（公務員のライト）と業務契約を結びました。
＊2027 年度の本格的な単位制への移行・大幅なカリキュラム改訂に向けて、各種会議やブレーンストーミングを行います。
＊非常勤講師の時給を 106%引き上げます。
＊教職員の労働条件を改善していきます。